

令和5年度第2回海外経済セミナー

「インバウンド誘致を成功に導く3つの広報戦略」を開催しました！

2023年8月4日（金）、今年度第2回となる海外経済セミナー「インバウンド誘致を成功に導く3つの広報戦略」を開催しました。今回は、クレアのプロモーションアドバイザーとしてもご登録いただいている、株式会社クリップの代表取締役の島田氏を講師にお招きし、自治体がインバウンド誘致をはじめとする海外展開に取り組む際に最も重要な要素の一つである「広報」をテーマにご講演いただきました。

島田氏は、過去に大手出版社の編集部に勤めていた経験を生かし、これまで全国の観光コンテンツのプロデュースを手がけてきました。それぞれのコンテンツに合わせた情報発信の手法を用いることでインバウンドをはじめとする観光客の獲得に成功を収め注目されており、これまでも数多くのテレビや雑誌でも紹介されるなど、まさにインバウンド誘致における広報分野の第一人者として活躍されています。

セミナーでは、島田氏が実際にプロデュースを手がけられた自治体や観光コンテンツの具体事例なども交えながら、自治体に取り組むべき広報戦略についてわかりやすくご紹介くださいました。

<講師プロフィール>

株式会社クリップ 島田 昭彦氏

クリップ代表取締役、京都観光おもてなし大使、京都芸術大学特別講師。文藝春秋編集部に10年間在籍後、2005年文化観光・地域デザイン企画開発会社「クリップ」設立。地域活性プロデューサーとして、食文化、歴史など、地域コンテンツを高付加価値化し情報発信を手掛ける。



インバウンド誘致における情報発信の重要性

現代の情報化社会において、どこの自治体も広報の重要性については認識した上で取り組まれています。島田氏は、自治体はコンテンツを作ることまではできていても、情報発信が不十分であると言います。

いくら良いコンテンツがあっても、必要とする人のもとへ情報が届かなければ、来訪にはつながらない。そのため、情報発信は、コンテンツ開発の5倍の熱量を必要とするという心がけで取り組む必要があるとのこと。

自治体が情報発信において心がけるべきこと

では、実際に情報発信を行う場面においては、どのようなことにその熱量の力を注ぐべきなのでしょう。島田氏によると、情報発信において最も重要なことは、情報整理をすることなのだそうです。

まずは地元の特徴や、売り出したいコンテンツの特徴を十分に把握する。そして、ターゲットを絞り込む。そのうえで、ふさわしい発信メディアをマッチングする。このステップを踏むことにより、ニーズがある場所に対して、ピンポイントに発信することができます。

手当たり次第に発信し続けるのではなく、受け手に合わせたコンテンツ選定と発信媒体の検討が、情報発信効果の最大化につながるとして、佐賀県嬉野市など、島田氏が実際に手掛けられた事例を挙げて、詳しく解説されました。

3つの広報戦略とは

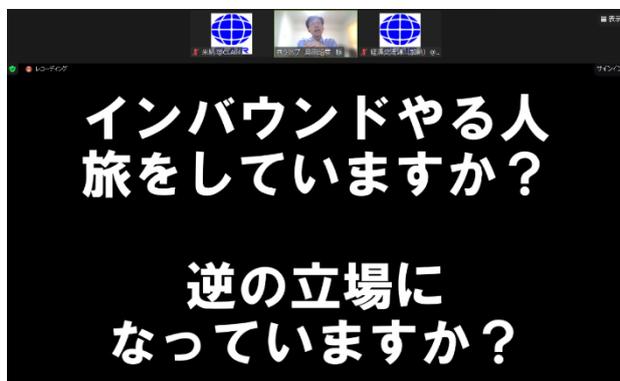
最後に、本セミナーのまとめとして、今回の講演タイトルにもなっている、自治体がインバウンド誘致に向けた広報に取り組むにおいて必要な3つの戦略をご教示くださいました。

1つ目は、誰のため、何のためのコンテンツなのかを事前に整理すること。2つ目は、誰が、何を発信すべきかをよく検討して発信すること。そして3つ目は、WEB サイトへのアクセス数といった数値ではなく、現地での体験に関するフィードバックといった中身を重要視した効果測定を行うこと。

より効果的かつ効率良く情報発信して、インバウンド誘致を成功に導くためにも、自治体には、これらを念頭に置いて戦略的に広報を行ってほしいとのアドバイスをいただきました。

本質への問いかけ

また、島田氏は、セミナー内の各ポイントにおいて、インバウンド誘致に取り組む自治体職員に、日頃から自らに問いかけてほしい項目をご提示されました。常に高くアンテナを張っているか、逆の立場になっているか、実際に旅をして現場を感じているかなど、自らどのようにあるべきか、常に意識してほしいとのこと。どの項目も、職種に限らず参考になりそうです。日々忙しく業務をこなす自治体職員の皆様方の中には、ハッとさせられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。



【最後に】

今回のセミナーでは、総勢 102 人の方にご参加いただきました。アンケートからは、「立案時の注意点から具体的手法まで広く学べた」「非常に納得度が高いご説明をいただいた」「実績と具体性があり、当方が取り組むべき方向性がイメージできた」など、高い満足度を得ていただいた様子がかえりました。

クレア経済交流課では、今後も関係各所と協力・連携しながら、自治体に役立つ経済情報を提供してまいります。次回セミナーも、どうぞお楽しみに！

経済交流課 加納（愛知県派遣）

